

報徳 センバツ準V

21年ぶり
頂点ならず

山梨学院に3-7

第95回選抜高校野球大会は1日、西宮市の甲子園球場で決勝が行われ、報徳(兵庫)は3-7で山梨学院に敗れ、21年ぶり3度目の優勝はならなかった。山梨学院は、山梨勢として春夏通じて初めて頂点に立った。

6年ぶりに出場した報徳は今大会、初戦の2回戦で11安打を放ち、高崎健康福祉大高崎(群馬)に7-2で快勝。3回戦の東邦(愛知)戦と準々決勝の仙台育英(宮城)戦は、いずれも無死一、二塁から始まるタイブレークの延長十回に5-4で劇的なサヨナラ勝ちを収めた。

昨夏の甲子園大会を制覇した仙台育英を破って勢いに乗った報徳ナインは、準決勝でも春2連覇を狙った大阪桐蔭に7-5で逆転勝ちし、決勝に駒を進めた。

しかし、兵庫勢として7度目の栄冠は手にできなかった。1932年創部の報徳硬式野球部は夏15度、春は今回を含めて22度甲子園に出場している。

決勝で敗れ、整列する報徳ナイン＝1日午後、西宮市の甲子園球場

